

南三陸町病院事業等改革プラン 点検と評価

平成 30 年 12 月

南三陸町

目 次

1	はじめに	1
2	改革プランの点検と評価	1
3	改革プランの4つの柱	1
	（1）地域医療構想を踏まえた役割の明確化	2
	（2）経営の効率化	4
	（3）再編・ネットワーク化	7
	（4）経営形態の見直し	7

はじめに

南三陸町病院事業改革プランとは

町民のみなさんに安心安全な医療サービスを、将来にわたって提供するにはどうしたらよいか、取り組むべき内容を定めた病院の基本的な運営方針です。南三陸町第二次総合計画、病院建設基本計画、宮城県の地域医療計画を踏まえ、策定されています。（南三陸町病院事業改革プランの詳細は[こちら](#)をご覧ください。）



改革プランの点検と評価

改革プランは、毎年9月頃に点検・評価を行います。その後、決算議会に諮ります。また点検・評価結果を町の広報誌と病院ホームページで公開します。広報みなみさんりく12月号には、「南三陸町病院事業改革プラン」の実績と数値目標の一部について掲載しました。ホームページでは、より詳しい実績と、実績に対する評価・点検を行った内容について、お知らせします。

改革プランの4つの柱

南三陸町病院事業改革プランは、大きく4つの柱で構成されています。それぞれの実績と評価の詳細について、以下の項目をご覧ください。

- (1) 地域医療構想を踏まえた役割の明確化
- (2) 経営の効率化
- (3) 再編・ネットワーク化
- (4) 経営形態の見直し

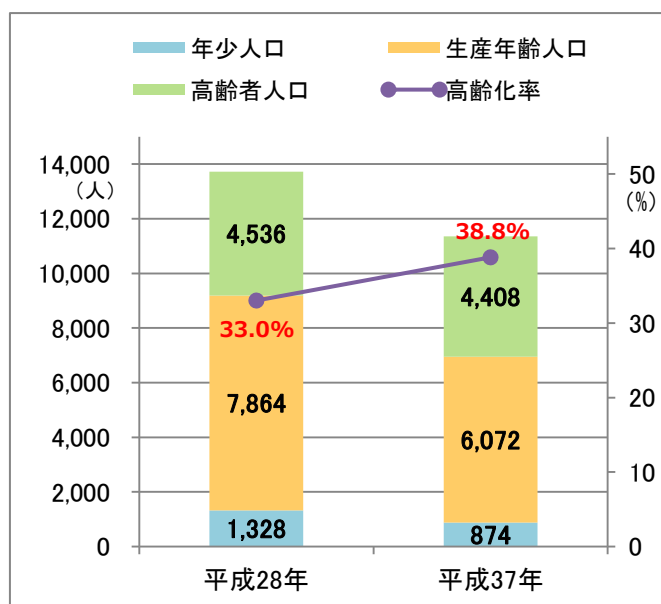
(1) 地域医療構想を踏まえた役割の明確化

少子高齢化の急速な進行、医師・看護師不足など、医療を取り巻く環境が大きく変化していくなかで、南三陸町唯一の公立病院としてどのようにあるべきか、役割を明確にしていかなければなりません。ここでは特に以下の3点について、実績と評価を示します。

- ・ 外来診療体制の維持
- ・ 病床の効果的な活用
- ・ 医師不足への対応

～ 参考：南三陸町の人口推移について ～

南三陸町第二次総合計画において、平成37年までの人口の変化が推計されています。抜粋して以下にグラフを示します。

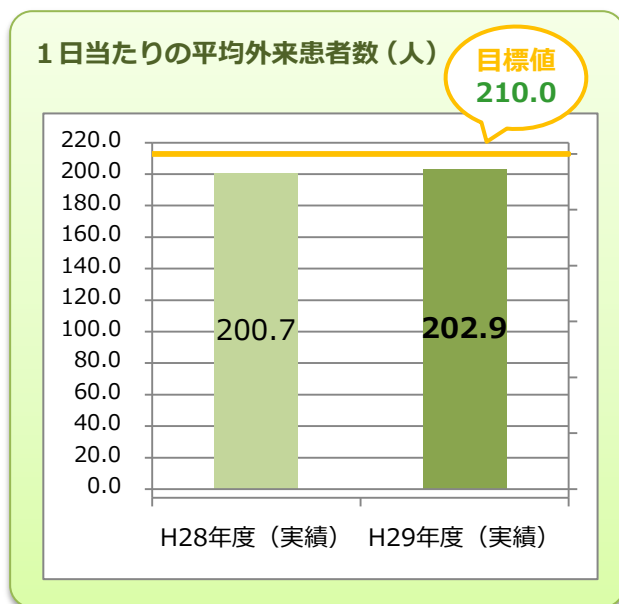


人口は減りますが、
高齢者の割合は
多くなります。

※ 年少人口（0～14歳） / 生産年齢人口（15～64歳） / 高齢者人口（65歳以上）

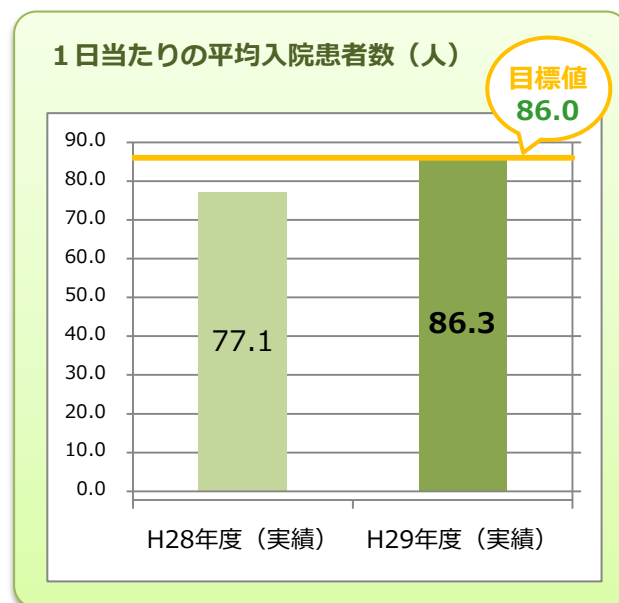
・ 外来診療体制の維持

南三陸町では人口減少と高齢化が進む見通しとなっています。改革プランでは南三陸病院が地域の基幹病院として、従来通りの診療科を維持し、外来診療の充実を目指すことを定めています。下のグラフは1日当たりの平均外来患者数の実績です。平成29年度は前年度より若干の増となりましたが、目標に達しませんでした。



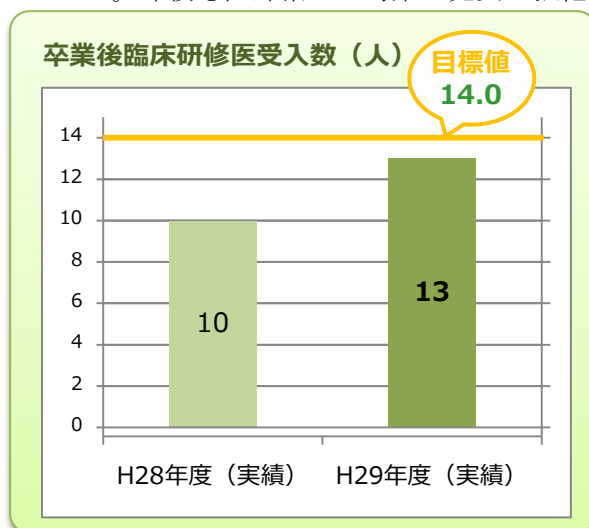
・ 病床の効果的な活用

改革プランでは、住民のみなさまの要望をふまえた病床の活用を目指しています。石巻、登米、気仙沼の各医療機関との連携を図り、回復期・慢性期の患者様を受け入れることのできる体制を維持・継続していきます。下のグラフは、1日当たりの平均入院患者数です。平成29年度は前年度より大幅な増となり目標を達成しました。病床利用率は95.9%になります。今後も医療圏内の各医療機関と連携しながら、一般病床及び療養病棟の効果的効率的活用を図ります。



・ 医師不足への対応

医師不足への対応として、医師臨床研修、医科大学生などの地域医療実習の受け入れを積極的に行うなど対策を図っています。以下に卒業後臨床研修医受入数の実績を示します。平成29年度は前年度より多くの臨床研修医の受入を行いました、目標値には達しませんでした。今後も医師招へい対策の充実・強化に努めます。



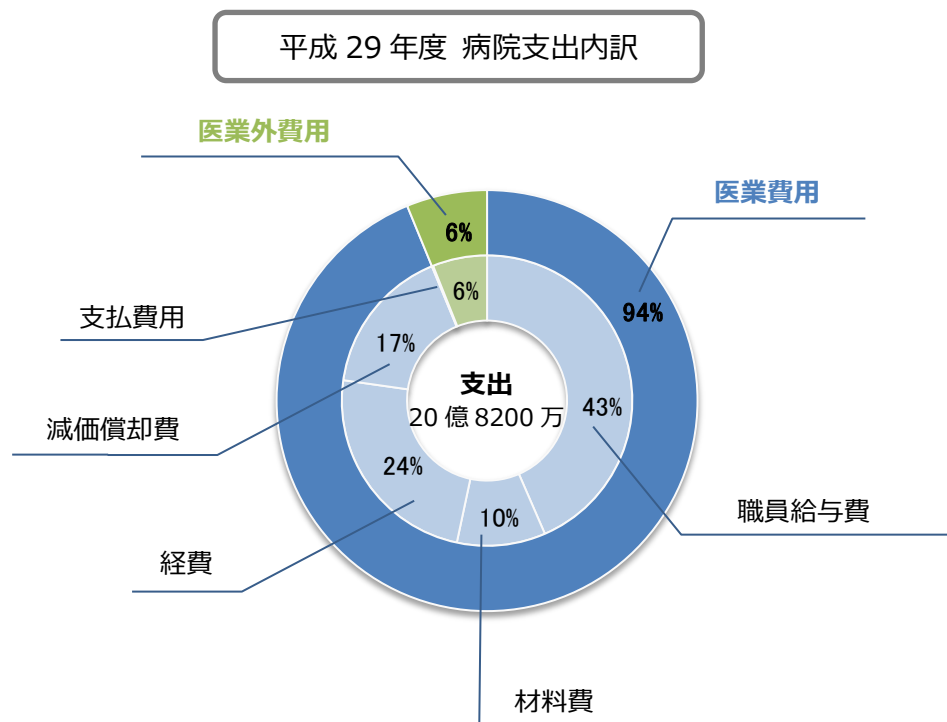
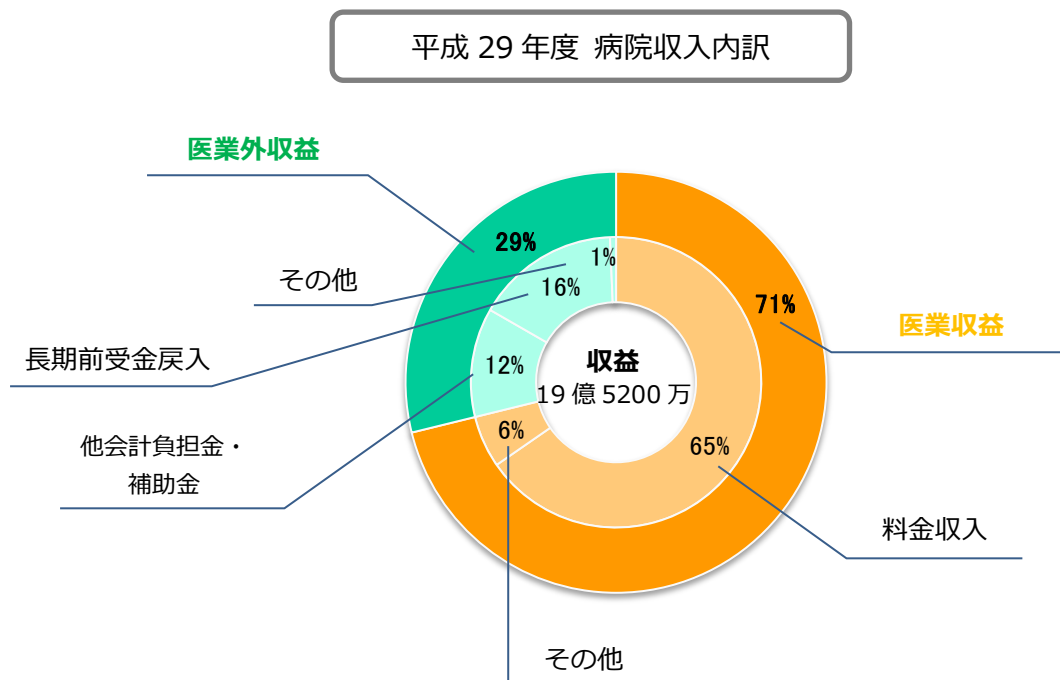
（2）経営の効率化

経営の効率化については、数値目標とそれに係る実績を中心に示します。

下記、表の通りとなっています。（平成29年度の損益においては、開院以降病床利用状況が順調に推移しており、その収益増に伴い、純損失の減となったものです。）

1) 収支改善に係るもの	H28年度（実績）	H29年度（目標）	H29年度（実績）
医業収益（百万円）	1,185	1,357	1,389
医業費用（百万円）	1,882	1,845	1,953
経常収益（百万円）	1,739	1,878	1,952
経常費用（百万円）	2,008	1,982	2,082
経常損益（百万円）	△269	△104	△130
純損益（百万円）	△275	△104	△130
2) 経費削減に係るもの	H28年度（実績）	H29年度（目標）	H29年度（実績）
材料費の対医業収益比率（%）	13.6	12.9	14.8
3) 収入確保に係るもの	H28年度（実績）	H29年度（目標）	H29年度（実績）
病床利用率（%）	85.60	95.60	95.90
透析患者数（人）	3,271	3,600	3,502
4) 経営の安定性に係るもの	H28年度（実績）	H29年度（目標）	H29年度（実績）
医師数（人）	7	8	7
看護職員数（人）	62	65	66
職員数（常勤）	109	110	110

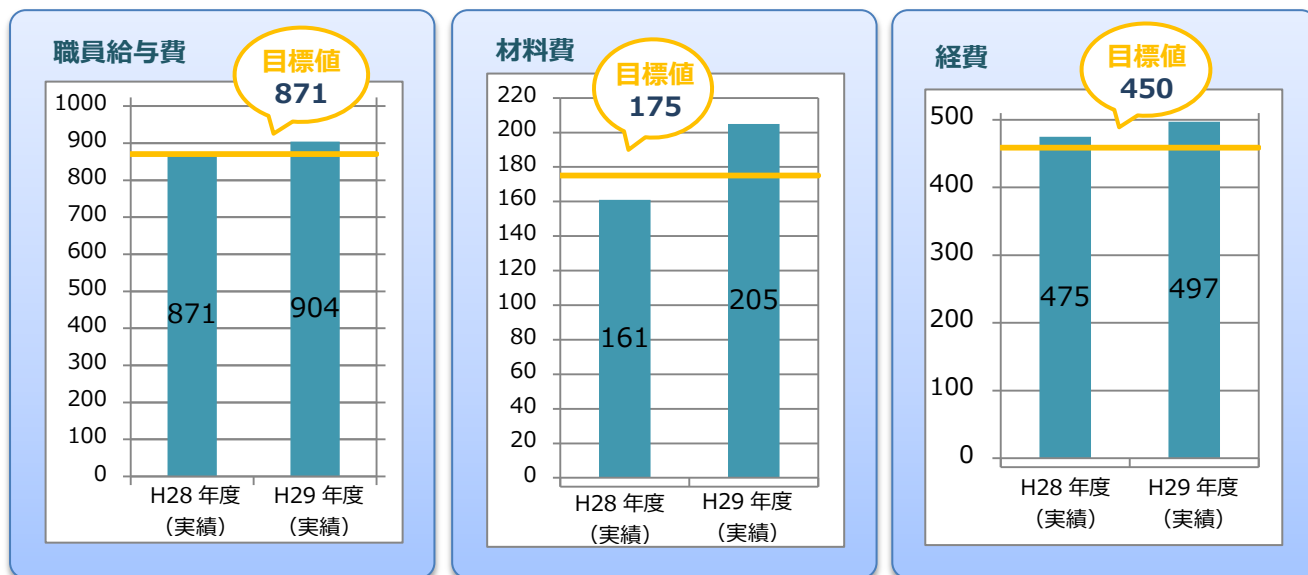
次に、病院の収入と支出の内訳について、以下のグラフで示します。



収支の改善を図るために、関係機関との連携のもと地域包括ケア体制を構築し、医療収益の向上に努めるとともに、効率的運営により費用の削減に努めます。また健全で持続的な病院運営を行っていくため、収支の黒字化に向け、経営改善に取り組んでいきます。

・ 経費の削減について

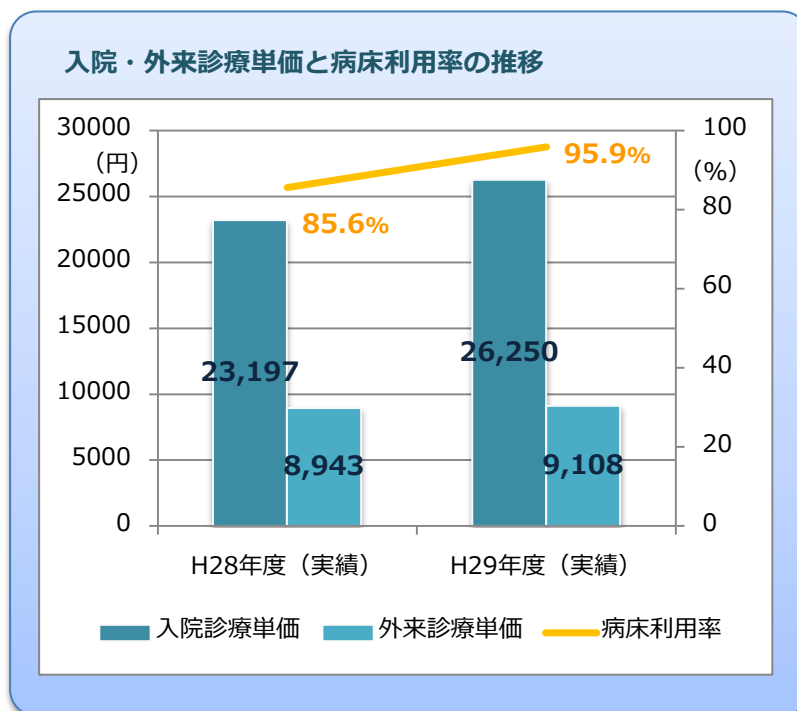
病院の医療にかかわる費用のうち、およそ8割を占める「職員給与費」「材料費」「経費」の推移について、以下のグラフに示します。平成29年度は患者数が増となったことから、いずれも目標値を上回ることとなりました。



(単位：百万円)

・ 収入の確保について

新病院が開院して以降、診療単価、病床利用率は順調に伸びています。以下に実績を示します。



今後も、近隣の病院や介護施設などと連携しながら、病床利用率を高い水準で維持していくことを目標とします。

(3) 再編・ネットワーク化

近隣自治体の基幹病院とは、相互に緊密な情報交換を行うことにより、効率的な役割分担を図っていきます。しかしながら、医療圏が広大であり対象となる関係機関が多数に及ぶことから、優先的に行うべき連携について順次検討を進めていきます。

(4) 経営形態の見直し

南三陸地域の医療・保健・福祉の拠点となる病院として、今後も健全な運営を続けていくために、最も効率的である経営形態について持続的に検討していきます。